

1. ケンブリッジ大学英語検定機構における試験対策問題集作成 の基本的な考え方



・問題集に掲載する問題と実際に出題する 問題との関係性はどのようなものか

(基本的な考え方や同一問題又は類似問題出題の考え方など)

著者、編集者、出版社は**実際の試験の内容にアクセスすることはできません**。
また、試験日ごとに異なる試験問題用紙が使用されます。さらに試験問題は、
使用されなくなった（=retired）後に初めて公開されるため、教科書（テキスト
ブック）やその他の試験対策教材として、実際に使われている（liveの）試験
問題が掲載される可能性は全くありません。

ケンブリッジ大学英語検定機構（Cambridge Assessment English）は、**英国の
試験団体監督機関Ofqual**の要件に完全に準拠しています。**Ofqualの要件に基づ
いて、特に試験対策教材にliveの試験の内容が含まれないよう設計されています。**

資格試験監査機関 **Ofqual**による規制 I

Office of Qualifications and Examinations Regulation

<https://www.gov.uk/government/organisations/ofqual/about>

- 問題漏えい含め、不正に関する問題は、イングランドの公式な政府の法定規制当局Ofqual（Office of Qualifications and Examinations Regulation）による厳しい規制あり。Ofqualは特定の省庁に属さず、議会（Parliament）に直接報告する政府機関
- Ofqualは試験団体に対し、試験対策教材、対策講座等が、受検者にとって「unfair advantage（不公平な優位性）」を生じないように、それを回避するための手続きを有しているかどうかをチェックする。違反があれば、関係する機関に対して深刻な影響を及ぼす可能性あり
- 弊機関は、英国に限らず世界中のすべての試験実施においてOfqualの規制を完全に遵守しており、試験問題漏えいのリスクを管理するための広範囲な手順を有している。

【ご参考】 *“Rules and guidance for all awarding organisations and all regulated qualifications”*

すべての資格授与機関およびすべての規制対象資格に関する規則およびガイダンス

<https://www.gov.uk/guidance/ofqual-handbook> 構成：ハンドブックの使い方、セクションA～I

例）セクションA: ガバナンス：利益相反、リスク、インシデントや不正行為の管理等、資格授与機関のガバナンスに関する規則

資格試験監査機関 **Ofqual**による規制 II

Ofqualとケンブリッジ大学英語検定機構

- ケンブリッジ大学英語検定機構は、イングランドにおける外部資格検定試験を監督する政府の法定規制機関Ofqual（資格試験監査機関：the Office of Qualifications and Examinations Regulation）により資格授与機関として認定
- ウェールズ（Qualifications Wales）と北アイルランド（Council for the Curriculum, Examinations & Assessment, or CCEA）の法定規制当局との相互協議により、同様に認定
- ケンブリッジ大学英語検定機構は、Ofqualにより16年以上にわたって認定。Ofqualは2010年4月1日に設立された組織だが、前身は2002年11月1日に発足したQCA（Qualifications and Curriculum Authority：資格カリキュラム局）の規則の下で、監督・監査を実施
- ケンブリッジ大学英語検定機構は、Ofqual認定番号RN5185


The Register

Organisation: Cambridge Assessment English

Copy & Share Link

Organisation ID
Name
Cambridge Assessment English
Legal name
University of Cambridge (The Chancellor, Masters and Scholars of the University of Cambridge)
Known as
Cambridge English
Ofqual Recognition Number
RN5185

Recognition
Recognised from
01-Apr-2010
Status
Recognised

Contact details
Email
Accreditation@CambridgeEnglish.org
Website
<http://www.cambridgeenglish.org>
Link to prices

All qualifications offered
Qualifications offered by this organisation:
[Find Qualifications](#)

Built by Ofqual.
All content is available under the Open Government Licence, except for logos or where otherwise stated.


Ofqual
Build: 1.0.310&1

ケンブリッジ大学英…Cambridge Engli… 「大学入試英語成績提供システム」参加申込みにあたって

「大学入試英語成績提供システム」参加申込みにあたって

第5	情報公開、第三者評価等の要件	
1	試験の内容、実施体制及びテストの信頼性・妥当性等について、第三者機関による評価又は第三者が参画する厳格な自己評価が行われていること	当機関は次のような第三者評価機関による監査を受けています。 1. ISO9001のためのBSI（英国規格協会）による半年に1度の監査 2. ほぼ定期的に実施されるOfqual（イングランド政府の教育・資格の質評価に関する監督機関）による監査 3. ALTE（ヨーロッパ言語テスト協会）による5年に1度の監査 ケンブリッジのレベル別試験については、ヤングラーナーズ英語検定を含む全検定試験にALTEの基準をクリアしている品質を保証する「Qマーク」が付与されています。次回監査は2018年度。 ALTEのQマークを付与される条件である17の基準について、2007年監査の様子は こちら をご覧ください。 ※CEFRとの関連付けについての検証は こちら をご覧ください。

弊機関の日本語ウェブサイトで
開示中の内容



- ・英語力が向上していないのに点数が取れる
ような対策となっていないか

- ・ ケンブリッジ英語検定は、他の試験と同様、**効果的な英語学習を奨励し支援するように設計されている**ことを注記しておくことが必要
- ・ つまり、ケンブリッジ英語検定はそれぞれが「外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）」に基づいた明確な構造に従っており、その結果、受検者と指導者の先生は試験に合格するために（さらに仕事や勉強、日常生活において英語を効果的に使えるようにするために）どの技能について勉強・練習が必要なのかが分かる
- ・ 出版社は、これらの詳細な仕様に基づいて試験のレベルと形式を正確に反映した教材を作成しますが、実際に使われている（liveの）試験問題にアクセスすることはできない

2. 問題漏洩などの不正を疑われないために注意して取り組んでいること

- ・ 関係規定はあるか



・どのような漏洩対策を行っているか

情報流出の防止のための対応方策（事前）

ケンブリッジ大学英…Cambridge Engli… 「大学入試英語成績提供システム」参加申込みにあたって

「大学入試英語成績提供システム」参加申込みにあたって

※ 第4 資格・検定試験に関する要件
の11番目の項目で開示している内容

- 試験とサービスを設計・開発・提供するための弊機関のシステムおよびそのプロセスは、ISO9001－2008を満たすものとして国際認証を得ている。
- 受検者が試験問題について事前に内容について決して知り得ることができないよう設計されている。（試験日毎に異なる試験問題を使用する、など）＊2018年は全レベル4－12月で206回の試験日設定あり
- 作問のプロセス：全てセキュリティーの高い電子アイテムバンクを用いて作成。試験問題をパスワードで保護されるアイテムバンクに保管し、実際に使われている(live)テストの試験問題が公にならない防止策としている。
- 試験資材の安全な保管と発送：機密試験資材は全て高度な安全対策が施されたケンブリッジの敷地内で印刷・保管され、ウェアハウス内の発送業者により世界中の認定試験センターに直接安全に送られている。
- 試験センターになる条件の一つにセキュリティーの高い保管場所の確保が義務付けられている。さらに試験当日、試験問題の入った資材袋の開封は受検者の目の前で開封することが義務付けられており、また解答済みの試験資材は試験終了後すぐに封止され返送されなくてはならない。
- この試験センターのセキュリティーは抜き打ち査察を含む定期的な査察官によるチェックを受け、防止対策としている。

※詳しくは弊機関リーフレット「セキュリティー、一貫性、不正防止対策について」参照のこと



・どのような漏洩対策を行っているか

情報流出が生じた場合の対処方針

- 万が一問題が事前に漏洩した場合は、代替の試験問題冊子を使用するか、試験の結果を無効として新規のテスト問題で再度実施する手段を講じる規定あり

弊機関では、テストの開発（問題作成）、テストの管理・運営、採点と評価、結果の検証など、あらゆる段階でテストのintegrity（一貫性・完全性）を守るための厳密な手続きを有している。

（*Principles of Good Practice*：グッドプラクティスの原則：言語評価における品質管理と検証<右>）、「セキュリティ、一貫性、不正防止対策について」を参照のこと）。英語圏の国々の移民や市民権等、非常にハイスタークな状況の中でこの手続きを世界中で運用しており、当手続きが（査証等で活用されている事実から）例えば英国やオーストラリアの公的規制当局や政府部門の厳しい要件を満たしていることがは明白である。

Security: it is essential that test materials are kept securely. If candidates are able to see questions in advance of taking a test then their answers will be based on memory rather than language ability and the validity of their results will be undermined. For this reason, we make sure that test materials are held in password-protected item banks (see page 25) and that items from 'live' tests are not published.

“*Principles of Good Practice*”「グッドプラクティスの原則」Page 7より抜粋

セキュリティ：テスト資材を安全に保管することが重要。受検者が受検前に問題を見ることができたならば、言語能力より記憶に基づいた解答となるため、結果の妥当性が損なわれることになる。そのため、弊機関では、試験問題をパスワードで保護されるアイテムバンクに保管し、実際の(live)テストの試験問題が公にならないよう徹底している。

Cambridge English

Principles of Good Practice

Research and innovation
in language learning and assessment

May 2016

VALIDITY
RELIABILITY
IMPACT
PRACTICALITY

ご参考

ケンブリッジ大学英...Cambridge Engli... 「大学入試英語成績提供システム」参加申込みにあたって

「大学入試英語成績提供システム」参加申込みにあたって

第5	情報公開、第三者評価等の要件	
1	試験の内容、実施体制及びテストの信頼性・妥当性等について、第三者機関による評価又は第三者が参画する厳格な自己評価が行われていること。	当機関は次のような第三者評価機関による監査を受けています。 - ISO9001のためのBSI（英国規格協会）による半年に1度の監査 - ほぼ定期的実施されるOfqual（イングランド政府の教育・資格の質評価に関する監督機関）による監査 - ALTE（ヨーロッパ言語テスト協会）による5年に1度の監査 ケンブリッジのレベル別試験については、ヤングラーナーズ英語検定を含む全検定試験にALTEの基準をクリアしている品質を保証する「Qマーク」が付与されています。次回監査は2018年度。

English	Cambridge English Language Assessment		Cambridge English: Key • Re-audit April 2023 	Cambridge English: Preliminary • Re-audit April 2023 	Cambridge English: First • Re-audit April 2023 	Cambridge English: Advanced • Re-audit April 2023 	Cambridge English: Proficiency • Re-audit April 2023 
			Cambridge English: Key for Schools • Re-audit April 2023 	Cambridge English: Preliminary for Schools • Re-audit April 2023 	Cambridge English: First for Schools • Re-audit April 2023 		
		Cambridge English: Starters • Re-audit Dec 2019 	Cambridge English: Movers • Re-audit Dec 2019 	Cambridge English: Flyers • Re-audit Dec 2019 	Cambridge English: Business Preliminary • Re-audit April 2023 	Cambridge English: Business Vantage • Re-audit April 2023 	Cambridge English: Business Higher • Re-audit April 2023 

ALTE Qマーク； <https://www.alte.org/resources/Documents/2018-05-15%20ALTE%20Framework%20v24.pdf>

機関に対して行われる監査および評価

- 品質管理システムの国際規格であるISO 9001の認証を取得
- BSI（英国規格協会）BSI品質マークが授与されている
- Ofqual**が定める規制を遵守、定期的監査の受け入れ

試験に対して行われる監査及び評価

欧州の言語テスト協会（ALTE）の品質管理システムに積極的に関与。5年ごとにALTEフレームワークに含まれるすべての試験の有効性の議論・精査する外部評価機関・ALTEによる監査に参加しており、ALTEの品質マーク（Qマーク）が付与されている。

ケンブリッジ英語検定の監査は問題なく2018年終了、次回は2023年。

ALTEフレームワーク：テスト設計、テスト実施、採点、テスト分析、ステークホルダーとのコミュニケーションに関する項目

お問い合わせ

テストのセキュリティの詳細やCambridge English (ケンブリッジ英検) の活用法についてさらに情報が必要な場合は、こちらにお問い合わせ下さい。

Email: recognition@cambridgeenglish.org (英語)

Tel: +44 1223 556144

www.cambridgeenglish.org/institutions

日本語によるお問い合わせ:

ケンブリッジ大学英語検定機構 日本支部

Email: InfoJapan@cambridgeenglishreps.org

Tel: 080-5545-8969 (日本支部代表)

Fax: 050-1271-2735

www.cambridgeenglish.org (English)

www.cambridgeenglish.org/jp (日本語)

Cambridge English
Language Assessment
1 Hills Road
Cambridge,
CB1 2EU
United Kingdom

cambridgeenglish.org



Cambridge English
Language Assessment



/CambridgeEnglishTV



/CambridgeEnglish



/CambridgeEng

ケンブリッジ大学英語検定機構 (Cambridge English Language Assessment) は、英国ケンブリッジ大学の一部門であり、非営利組織です。ケンブリッジ英検や英語教授知識認定テスト (TKT) など世界中の英語学習者や指導者にとって価値ある資格試験 Cambridge Englishの開発、提供に努めています。試験の品質は、英語試験提供機関の中でも世界トップレベルの研究者チームによって支えられています。

受験者は世界130カ国でおよそ年間500万人以上に上り、大学・企業・省庁など20,000以上の世界中の機関により、英語力の証明としてケンブリッジ大学英語検定機構の試験は認定、活用されています。

記載されているすべての情報は、2016年4月の印刷時のものです。

Security, integrity and fraud protection

セキュリティ、一貫性、不正防止対策について